



リチウムイオン電池の過放電について



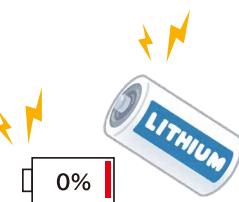
長期間保管していた受信器を充電した所
充電できません。



リチウムイオン電池の「過放電」の可能性があります。
「過放電」について説明いたします！

「過放電」とは？

過放電とは、電池の容量が0%になっても、
さらにエネルギーを取り出そうと放電してしまう状態のことです。
電池の劣化を進める原因のひとつです。



「過放電」を避けるには？

製品は保管中も「自然放電」で電池を消耗しています。
保管する際は、満充電にしてから保管するようにしてください。
長期間保管が続く場合は、定期的に電池容量を確認していただき、
必要であれば充電をしてください。



保管スペース

「過放電」をすると？

電池が空の状態が長期間続くと、充電ができなくなり、
結果としてその製品が使えなくなってしまうこともあります。



電池パックが膨らんでいる！？

電池パックが膨らむ理由は、過放電を繰り返した原因のひとつにあるようです。

充電・放電を繰り返すことで電池が徐々に劣化し、内部にガスが発生した結果、電池が膨らむことがあります。膨張した電池パックは、衝撃が加わると発火や破裂の危険があるので、お住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。また、弊社製品のリチウムイオン電池に関しては廃棄いたしますので、絶縁処理を施し元払いにてお送りください。